



大人への第一歩!

令和4年度のスローガン

「希跡～STAY GOLD MY LIFE～」

令和4年度「東海村立志式」を開催しました

2月2日、東海文化センターで東海中・東海南中の2年生(379人)を対象に、令和4年度「東海村立志式」を開催しました。両校の生徒は立志式に向けて、スローガンをもとにテーマを設定し、自分の生き方について考えを深めてきました。

当日は、パネルディスカッション「私たちのメッセージ」の中で、これまでの取り組みや未来に向けての抱負を披露しました。また、東海南中の卒業生である柳澤眞さん(グランリデル株式会社代表)による、「本気」と題した講演も行われました。実行委員長を務めた沢畑壮一郎さん(東海中)はあいさつの中で、「大人になって悩んだ時に、今まで自分が歩んできた“希望の足跡”を振り返り、自分自身の人生を輝き続けるものにしよう」と力強く話しました。



【問い合わせ】教育委員会指導室(☎282-1711 内線1416)

「保育」という おしごと

— 保育者からのメッセージ —



子どもたちの個性を大切にしながら
成長を見守り続けます

保育士だった母の姿を見て育った私は、小さい頃から「保育士になりたい!」という夢を持っていました。私自身も保育所に通い、同じ年齢の友達と遊び等を通して、さまざまな経験をしました。私が年長の時の担任の先生は、いつも私に優しく寄り添ってくれました。母のようなとても温かい存在だったのを覚えています。そんな先生に出会えたからこそ、安心して自分を出し、思い切り遊ぶことができたのだと感謝しています。

私は今、0歳児クラスの担任をしています。初めは、集団生活が不安で泣いていた子どもたち。今では保育所での生活に慣れ、たくさん遊び、喜んで給食を食べる姿が見られるようになってきました。昨日までできなかったことができるようになったというような成長を間近で見られた時が、「この仕事をやっていて良かった」と思える瞬間です。

私が保育をする時に大事にしている事は、一人ひとりにしっかり寄り添うということです。運動が得意な子、絵が得意な子、歌や踊りが好きな子、友達のことを思いやることができる子ども、子どもたちはすてきな個性を持っています。子どもの姿をしっかりと捉え、子どもを信じて関わり、年齢に合った声掛けや援助をしていくことが、子どもたちの成長につながっていきます。これからも、一人ひとりの個性を認め、さらに豊かにしていくお手伝いをしていきたいと思っています。

百塚保育所
清宮友里 副主任保育士

保育の仕事の魅力を伝えるため、約4年にわたって掲載してきた「保育」というおしごと」は、今号をもって掲載を終了します。ご愛読ありがとうございました。